

地域社会の安心・安全確保のため

町内郵便局と連携協定締結



3月1日、役場会議室で、町と町内を配達区域とする5つの郵便局が包括連携協定を締結しました。
この協定は、高齢者や障がい者、子どもの見守り、道路の損傷、不法投棄などの情報提供など、子どもから高齢者まで誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりの推進と町民サービスの向上を図ることを目的に締結されました。

基本を学んで筋力アップ トレーニング教室開催



3月3日、町民センターで、安全なトレーニング器具の使用法や効果的な筋力トレーニングメニューの組み方などを学ぶ講習会が開かれました。
講師は、パーソナルジムトレーナーの高津宏樹さんが務め、参加者は実際にトレーニング器具を使用しながら、年齢や体力に合わせた効果的なトレーニング方法について講師から説明を受けました。

新冠町観光振興推進協議会 馬産地観光シンポジウム



3月10日、レ・コード館シアターで新冠町観光振興推進協議会主催「新冠町馬産地観光シンポジウム」が開かれ、町内外から約50名の参加者が集まりました。
シンポジウムは2部形式で開かれ、第1部では、プロソフトクリーマーとして活躍する森川勇一郎さんが、ソフトクリームの観光ツールとしての可能性について講演し、第2部では、同協議会の今年度の活動報告が行われたほか、町内で「馬」に関わる仕事をされる3名のパネリストが参加してトークセッションが開かれ、馬産地観光の可能性について約1時間間にわたり意見交換が行われました。

浦河地方法法人会新冠支部 新冠中学校吹奏楽部へ楽器を寄贈



3月7日、公益社団法人浦河地方法法人会新冠支部の地域還元活動の一環として、新冠中学校吹奏楽部にシンバル1組が寄贈されました。
同法人会の寄贈は今年で3回目、廣島会長は「部員の皆さんの日々の頑張りに敬意を表し楽器を寄贈します。これからも頑張ってください」と挨拶し、武田部長に楽器を手渡しました。

子育てサークルぴぐれつと みんなでクレープを作ろう！



3月8日、認定こども園で子育てサークルぴぐれつととの平成29年度最後の活動として、親子でクレープを作るミニパーティーが開かれました。
この日の活動には14組の親子が集まり、子どもたちは、焼き上がったクレープ生地の上に、イチゴやミカンの果物と生クリームをトッピングして、オリジナルスイーツ作りを楽しみました。

ま ち の 話 題

あ れ こ れ

北海道森林組合連合会 木のおもちやを寄贈



北海道森林組合連合会と農林中央金庫札幌支店は、環境保全と持続可能な森づくりの進展など地域における森林環境教育活動の一環として、認定こども園ド・レ・ミに北海道産の木材を使用した木のおもちやを贈呈しました。
3月26日、認定こども園に関係者が集まり贈呈式が行われると、子どもたちは、早速、積み木や木馬、木の人形やカップけん玉などたくさん木のおもちやを取り出して、楽しそうに遊んでいました。

認知症について学ぼう

平成29年度認知症勉強会終わる



3月16日、泉生活館で平成29年度最後となる「認知症勉強会・認知症サポーター養成講座」が開かれました。
「認知症」を正しく学んでもらおうと開かれたこの勉強会は町内9カ所の生活館等で開かれ、延べ63人が参加しました。
この事業は、今年度も継続して開催する予定ですので、参加を希望される方は、保健福祉課に問い合わせください。

新冠町レ・コード杯卓球大会 192名の選手が熱戦を繰り広げる



3月18日、スポーツセンターで、第18回新冠町レ・コード杯卓球大会が開かれ、町内外から参加した192名の選手が熱戦を繰り広げました。
午前9時に会場に設置された16台の卓球台で一斉に試合が始まり、最初は29チームが参加する団体戦が行われ、続いて全選手が参加する個人戦が開かれ、約7時間にわたり白熱した試合が行われました。

町商工会女性部からの贈り物

交通安全祈願「愛の鈴」



3月22日、新冠町商工会女性部役員が役場を訪れ、教育長に「愛の鈴」を手渡しました。
女性部では、例年、小学1年生になる子どもたちに交通安全の願いを込めた手づくりのお守りをプレゼントしており、この日は、役員3名が完成したばかりのお守り50個を氷川神社に持参し、お祓いを受けた後に教育委員会に届けていただきました。

練習の成果を存分に披露 楽器体験講座成果発表会



3月29日、レ・コード館町民ホールで楽器体験講座成果発表会が開かれました。
演奏を披露したのは、昨年夏から社会教育課事業の楽器体験講座に参加しているメンバーで、発表会では、講師のブルーホースのメンバーと共にステージに上がり、「イエスタデイ」と「オンリー・ユー」の2曲を堂々と演奏し、会場から大きな拍手を受けました。